

幻視の表現者

主催：碧南市藤井達吉現代美術館、碧南市、碧南市教育委員会、顕神の夢実行委員会
共催：朝日新聞社 助成：一般財団法人地域創造
監修：鎌田東二(京都大学名誉教授)

顕神の夢

碧南市制75周年記念事業 開館15周年記念

一般 900円 高大生 600円 小中生 400円
※(内は20名以上の団体料金。未就学児童、市内在住の小学生、中高校生、市内在住の65歳以上の方、各種障がい者手帳をお持ちの方と付添1名無料。受付に証明証をご提示ください)

From Kaita, Masayumi and Shoji, Science to Present Times
村山 槐多 関根 正二 から 現代 まで

作品 関根正二(少年) 1977年、個人蔵 部分

期間中展示替えあり(前期1月5日~1月28日、後期1月30日~2月25日)
入館は16時30分まで 休館日:月曜日(1月8日)、2月12日(開館)、1月9日、2月13日
開館時間 10時~17時

January 5 — February 25, 2024

2024.1.5 金 2.25

open 10:00 close 17:00

closed: Mondays

交通:名鉄本線「知立駅」もしくはJR「刈谷駅」 乗換、名鉄三河線 「碧南駅」下車、徒歩6分。知多半島道路・阿久比ICから車で約20分



Hokuriku City Tatsukichi Taji Museum of Contemporary Art
碧南市藤井達吉現代美術館
〒447-0847 愛知県碧南市音羽町1-1 電話 0565-486602 FAX 0565-486606
Eメール: museum@tatsukichi.jp / info@www.city.helinan.jp / museum

顕神の夢

幻視の表現者

村山槐多・関根正一

から現代まで

【❶】非合理的で直接的な経験が表現者にとってかけがえのないモチベーションとなることがあります。それはある種の宗教的な体験に似ていますが、宗教以前のものであり、宗教のもととなる出来事とも解釈できます。【❷】表現者たちは、訪れたヴィジョンをたよりに、自己を超えた名状し難い「何か」を捉えるべく身を焦がす思いで制作します。「何か」へのあこがれや思慕は、漠とした信仰心の発露ともいえます。しかし、描けば描くほど、作れば作るほど、その「何か」は、表現者の手からすり抜け別のもとなり替わってしまいます。そのため、彼らは向こうから「何か」がやってくるのを待つしかありません。本展ではこのような心情を仮に「顕神の夢」と名付けてみました。【❸】ときとして土俗的な印象を与える作品が出来ますが、それは、近代化により捨棄されず根強く残った心情の証しです。このような作品は既存の尺度では、測りえないものです。かといって、排除するわけにはいきません。現に作品は凄まじい力をもって迫ってきます。ならば、私たちは、作品にふさわしい尺度を学び、鍛えなければなりません。尺度がそぐえば作品は豊かな世界を開示してくれます。また、このような観点から、いわゆるモダニズムの文脈でのみ解釈されていた作品を読み直すことも可能です。優れた作品はすべからず不可知の領域に根ざしていると思われまふ。【❹】本展は、今までモダニズムの尺度により零れ落ち、十分に評価されなかった作品や、批評の機会を待つ現代の作品に光をあてる一方、すでに評価が定まった近代の作品を、新たな、いわば「霊性の尺度」でもって測りなおすことにより、それらがもつ豊かな力を再発見、再認識する試みです。

【❺】出品作家：門空、出口なお、出口王仁三郎、藤井達吉、萬鐵五郎、秦テヲ、高島野十郎、牧島如鳩、古賀春江、河野通勢、村山槐多、宮沢賢治、橋本平八、岡本天明、長安右衛門、関根正二、岡本太郎、高橋忠彌、三輪田俊助、金井南龍、佐藤溪、横尾龍彦、草間彌生、平野杏子、若林奮、八島正明、横尾忠則、芥川麟太郎、馬場まり子、藤山ハシ、石野守一、齋藤隆、真島直子、内田あぐり、黒川弘毅、舟越直木、宮川隆、O JUN、藤白尊、赤木仁、上田葉介、三輪洗旆、黒須信雄、橋本倫、佐々木誠、石塚雅子、三宅一樹、吉原航平、庄司朝美、中園孔二、花沢忍



01.高橋忠彌《水汲み》(1951年) 萬鐵五郎記念美術館蔵/02.草間彌生《水に映った蔭》(1977年) 松本市美術館蔵 ©YAYOI KUSAMA/03.岡本太郎《千手》(1965年) 川崎市岡本太郎美術館蔵/04.八島正明《給食当番》(1975年) 碧南市藤井達吉現代美術館蔵/05.石野守一《不安》橋本倫氏蔵/06.石塚雅子《迦陵頻伽》(2014年) 作家蔵/07.金井南龍《此の国》(1969年) さすら蔵/08.庄司朝美《21.8.18》(2021年) 作家蔵/09.萬鐵五郎《雲のある自画像》(1912-13年頃) 岩手県立美術館蔵/10.牧島如鳩《魚籃観音像》(1952年) 公益財団法人足利市文化財財団蔵/11.藤井達吉《炎》碧南市藤井達吉現代美術館寄託/12.真島直子《妖精》(2010年) 作家蔵(足利市立美術館寄託)

◎関連イベント ①記念講談「顕神の夢」:1.6[土]14:00~15:30/登壇:鎌田東二氏(京都大学名誉教授・本展監修者)、土方明司氏(川崎市岡本太郎美術館館長・本展提案者)、江尻潔氏(足利市立美術館次長・本展提案者)/会場:地下1階多目的室B/定員:60名/参加無料(要申込) ②真島直子氏アーティスト「トーク」:1.20[土]14:00~(30分程度) ※2階ロビーに集合ください/講師:真島直子氏(アーティスト・本展出品作家)/定員:15名/参加無料(要申込・要観覧券) ③ミュージアムコンサート:2.10[土]19:00~20:00 ※当日は終演後21:00まで夜間特別開館します/会場:1階ロビー/定員:50名/参加無料(要申込) ④ワークショップ「カミあらかるフシギな世界」:2.25[日]10:30~12:00、13:30~15:00/会場:地下1階創作室/講師:小林由依氏(陶芸家)/対象:3歳以上(幼児は保護者付添)/定員:各回15名/参加費:100円(要申込) ⑤担当学芸員によるギャラリートーク:1.14[日]、2.3[土]、18[日] 各14:00~(30分程度) ※2階ロビーに集合ください/講師:当館学芸員/参加無料(予約不要・要観覧券) ①~④申込み方法:12.5[火]10:00より受付開始、定員になり次第締切。電話にて、氏名・電話番号・参加人数をお伝え下さい。その他詳細はwebサイトをご覧ください ◎今回の企画展「第7回碧南市民アンデパンダン展」:3.19[火]→3.31[日] ◎交通案内:【電車】名鉄本線「知立駅」もしくはJR「刈谷駅」乗換、名鉄三河線「碧南駅」下車、南西方向へ徒歩6分 【車】知多半島道路・阿久比ICから車で約20分(衣浦大橋を渡って右折) ※駐車台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください ◎碧南市藤井達吉現代美術館 〒447-0847 愛知県碧南市音羽町1-1 Tel:0566-48-6602 Fax:0566-48-6603 Email:museum@city.hekinan.lg.jp https://www.city.hekinan.lg.jp/museum/

碧南海浜水族館 臨海体育館 衣浦港 至衣浦大橋 港本町 大浜漁港 国道247号 林泉寺社 西西方寺 羽根町 大浜神屋 広場 碧南駅西 碧南駅 名鉄三河線 至名古屋 音羽町 港橋北 大浜小北 名鉄名古屋線 知立 刈谷 碧南

17分 20分 6分 28分

碧南市藤井達吉現代美術館

HEKINAN CITY TATSUKIRI FUJII MUSEUM OF CONTEMPORARY ART